**化学物質について知っておくべき用語**

**【絵表示（ピクトグラム）】**

特定の情報（化学物質の危険・有害性）を絵などの画像により伝達することを意図したシンボルと境界線、背景のパターンまたは色のような図的要素から構成されるものをいう。

なお、実際の絵表示はパワーポイントの資料を参照ください。

**【管理濃度】**

法令により作業環境測定が義務付けられている化学物質について、作業環境測定結果から、作業場所の作業環境管理の良否を判断する際、管理区分を決定するための指標として定められた濃度。

**【許容濃度】**

　日本産業衛生学会では、許容濃度とは，労働者が 1 日 8 時間，週間40時間程度，肉体的に激しくない労働強度で有害物質に曝露される場合に，当該有害物質の平均ばく露濃度がこの数値以下であれば，ほとんどすべての労働者に健康上の悪い影響が見られないと判断される濃度。

**【危険有害性（ハザード）**】

化学品がもつ悪影響が生じる潜在的特性。物理化学的危険性、健康有害性及び環境影響有害性がある。

**【危険有害性区分】**

GHS分類での各危険有害性クラス内の判定基準の区分をいう。一定の基準によりクラス内でいくつかの区分が設定されており、区分に応じてラベルなどに表示する危険有害性を伝える文言か異なる。

**【危険有害性クラス】**

引火性固体、発がん性物質、経口急性毒性のような、物理化学的危険性、健康有害性、環境有害性の種類をいう。

**【危険有害性情報】**

各危険有害性クラス及び危険有害性区分に割り当てられた文言。該当する化学品の危険有害性の性質及びその程度を示す。危険有害性情報には文字“H”と三つの数字とからなる英数字コードが割り当てられている。

**【急性毒性】**

化学品の経口もしくは経皮からの単回ばく露、２４時間以内の複数回ばく露、又は４時間の吸入ばく露によって動物を死に至らしめる等によってヒトに対して致死性の影響があると考えられる、または知られている性質。

**【蒸気】**

液体または固体の状態から放出されたガス状の物質または混合物をいう。

**【注意書き】**

GHS文書に基づき、危険・有害性のクラス、区分に関連付けされ、危険有害性のある製品へのばく露あるいは危険有害性のある製品の不適切な貯蔵または取扱いから生じる負の影響を最小にするため、または予防するために取るべき推奨措置を記述した文言をいう。

**【注意換起語（シグナルワード）】**

ラベル上で危険有害性の重大さの相対レベルを示し、利用者に潜在的な危険有害性を警告するために用いられる言葉をいう。GHSでは、「危険(Danger)」と「警告(Warning)」を注意喚起語として用いている。

**【ばく露限界】**

ほとんどすべての労働者が連日繰り返しばく露されても健康に影響を受けないと考えられている量‐反応関係等から導かれる濃度又は量の閾（いき）値（数値的な境界の値）。

日本産業衛生学会の提案している許容濃度及び米国産業衛生専門家会議が勧告している時間荷重平均で評価した場合の時間荷重平均濃度が含まれる。

**【発がん性】**

化学製品が人又は動物に対して「がん」を生じさせる性質をいう。

ACGIH、IARC（国際がん研究機関）、米国・国家毒性プログラム、日本産業衛生学会等で、化学物質等の発がん性についてこれまでに得られた証拠の確かさに応じて分類されている。

**【プロセス】**

化学物質を取扱うすべての工程をさす。洗浄、払拭、塗装・塗布、反応、精製、混合撹拌、原材料の仕込み・抜き出し工程などがある。

**【ミスト】**

ガス（通常空気）の中に浮遊する化学物質または混合物の液滴をいう。

**【無毒性量】**

毒性試験において有害な影響が認められなかった最高のばく露量など。無有害影響量ともいう。例えば、当該物質について何段階かの異なる投与量を用いて行われる反復毒性試験等の毒性試験において、有害影響が認められなかった最大投与量のこと。

**【ラベル】**

危険有害な製品に関する書面、印刷またはグラフィックによる情報要素のまとまりであって、目的とする対象者に対して関連する危険・有害性情報が選択されており、危険有害性のある物質の容器、包装に直接、あるいはその外部梱包に貼付、印刷または添付されるものをいう。

**【リスク】**

危害発生の確率（または可能性）と、その危害の度合いとの組み合わせ。発生確率にはハザードへのばく露、危険事象の発生、および危害の回避又は制限の可能性を含む。

**【リスクアセスメント】**

一般にはハザード評価の結果およびばく露評価の結果から各化学物質のリスクについて評価すること。労働安全衛生法上はリスク低減措置の検討とその結果の労働者への周知も含む。化学物質やその製剤の持つ危険性や有害性を特定し、それによる労働者への 危険または健康障害を生じるおそれの程度を見積もり、リスクの低減対策を 検討することをいう。

**【GHS】**

Globally Harrmonaized System of Classefication and Labelling of Chemicalsを指す。化学品の分類および表示に関する世界調和システム

**【SDS】**

ＳＤＳとは、安全データシート（Safety Data Sheet）の略語。化学物質および化学物質からなる混合物を譲渡または提供する際に、その化学物質等の物理化学的性質や危険性・有害性及び取扱いに関する情報を、化学物質等を譲渡または提供する相手方に提供するための文書。

**参考資料**

* **産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントマニュアル　（厚生労働省）**
* **未熟練労働者に対する安全衛生教育マニュアル　（厚生労働省）**
* **化学物質のリスク評価のためのガイドブック　経済産業省）**
* **職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会資料**
* **職場における労働者の健康確保のための化学物質管理のあり方検討会資料**
* **厚生労働省リーフレット『外国人労働者に対する安全衛生教育には、適切な配慮をお願いします』**
* **職場のあんぜんサイト（化学物質）**[**https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/kagaku\_index.html**](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/kagaku_index.html)
* **厚生労働省リーフレット『労働災害を防止するためリスクアセスメントを実施しましょう』**
* **中小零細規模事業場集団リスクアセスメント研修事業　テキスト**
* **化学物質による爆発・火災等のリスクアセスメント入門ガイドブック**
* **化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂６版**
* **厚生労働省　化学物質のGHSラベルを活用した職場の安全衛生教育のための資料**
* **厚生労働省リーフレット『化学物質を扱う際には、 保護具を適切に使用しましょう』**
* **労働安全衛生総合研究所リーフレット　火災爆発を防ぐためのリスクアセスメントを実施しましょう**
* **中央労働災害防止協会発行図書『現場に役立つラベル・SDSの読み方・活かし方』**